

川越市地球温暖化対策条例について



平成22年7月14日
川越市環境部環境政策課



川越市の概要

- ★面積 109.16 km²
- ★人口 340,529人 (平成22年4月1日)
- ★世帯数 139,821世帯(平成22年4月1日)
- ★平成22年度当初予算額 1,665億円
(一般会計941億円、特別会計724億円)
- ★市制施行 大正11年12月1日
- ★中核市 平成15年4月1日
- ★産業構造
 - ・農業産出額 78億6千万円(県内4位)H18
 - ・製造品出荷額等 1兆114億円(県内2位)H18
 - ・商品販売額 7,858億円(県内3位)H16

かわごえの観光

～みるく(見る・歩く)～



川越まつり



蔵造りの町並み



市立博物館



時の鐘(残したい日本の音風景100選)



喜多院境内

温室効果ガスの状況

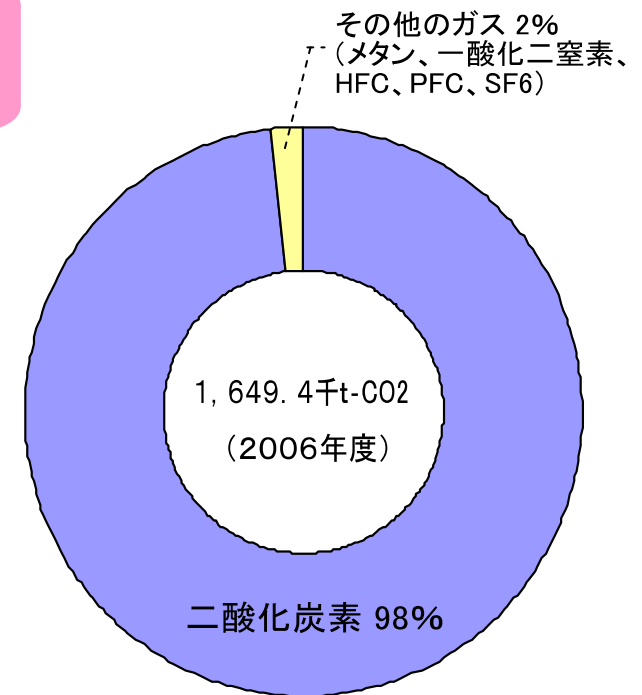
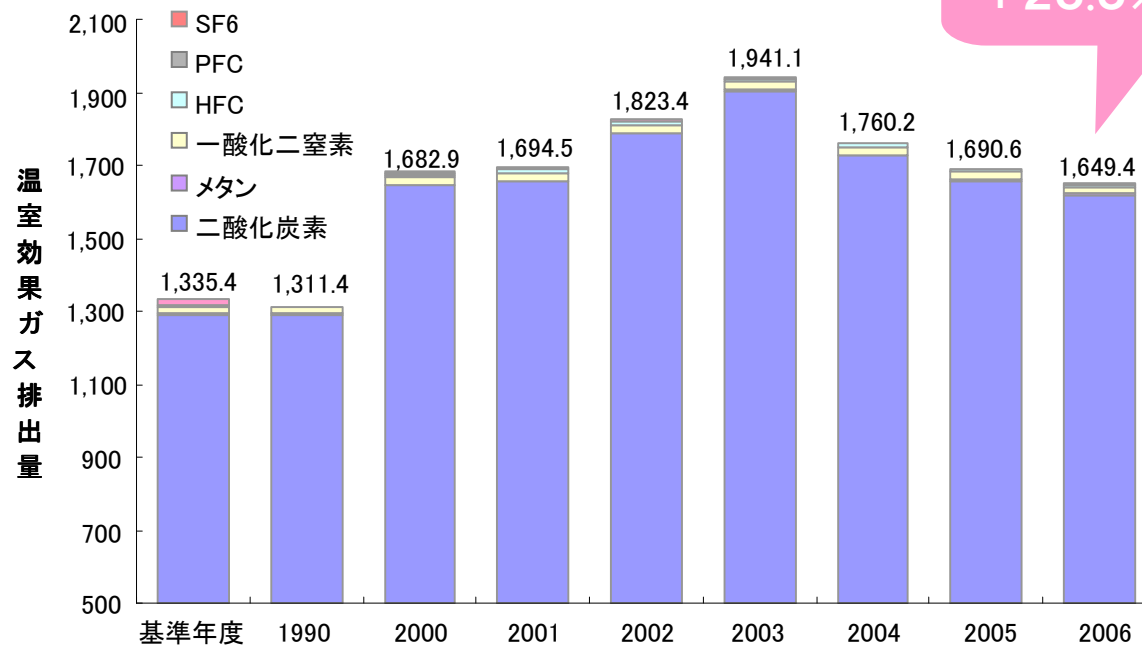
川越市における温室効果ガス排出量

- 川越市における2006年度の温室効果ガス総排出量は、約164万9千トンで、基準年度(原則1990年)に比べて約23.5%増加。
- 温室効果ガス排出量の内、約98%を二酸化炭素が占める。

<川越市における温室効果ガス総排出量>

<温室効果ガス排出量の内訳>

(千t-CO₂)

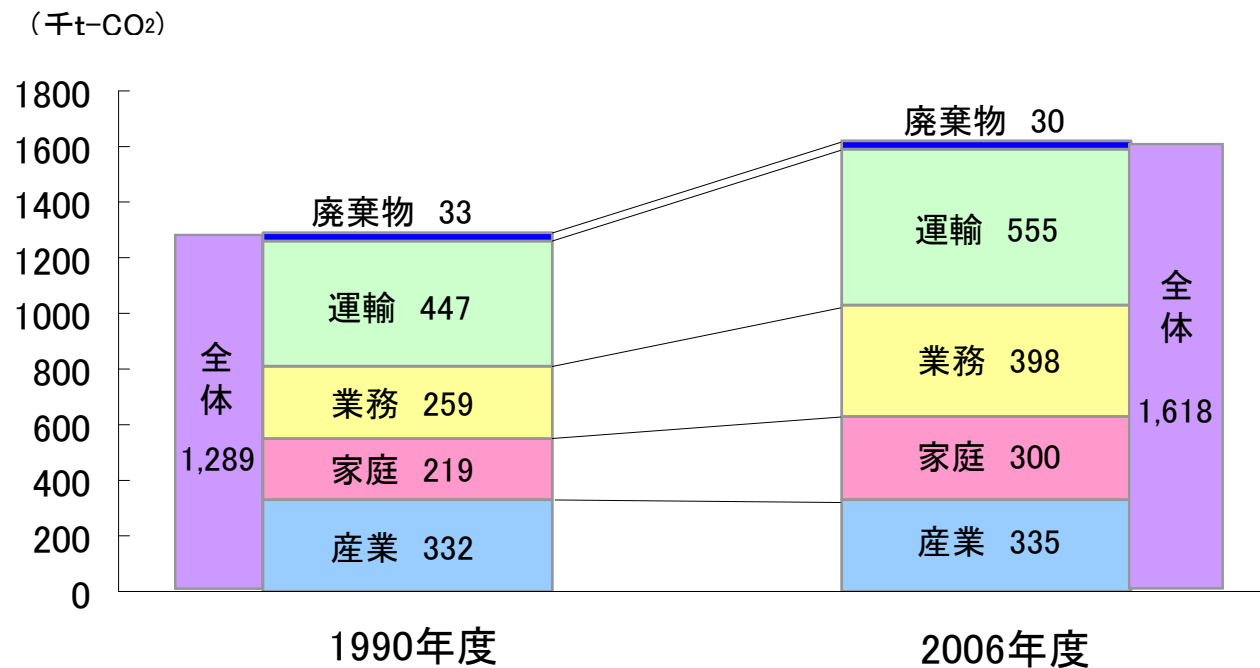


部門別二酸化炭素排出量

○川越市における2006年度の二酸化炭素排出量は、約161万8千トンで、1990年度と比較して約25.5%増加。

○全ての部門で排出量が増加。とりわけ、業務部門、家庭部門における伸びが著しい。

＜川越市における部門別二酸化炭素排出量＞



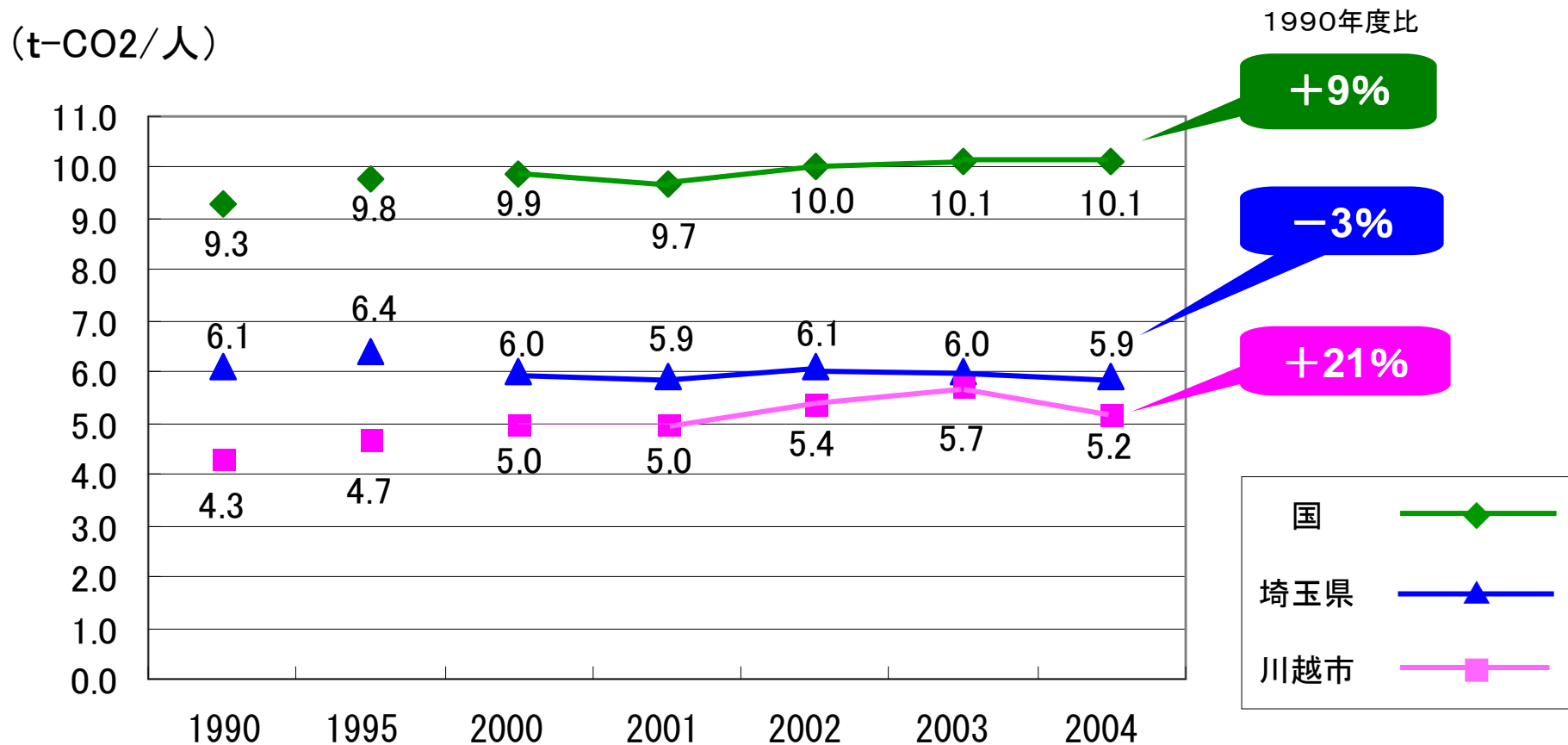
部門	増減率
全体	+25.5%
廃棄物	-9.1%
運輸	+24.2%
業務	+53.7%
家庭	+37.0%
産業	+0.9%

※端数処理の関係上、合計と内訳が一致しない。

1人当たりの二酸化炭素排出量(国・県・市)

○川越市における二酸化炭素排出量を1人当たりで見ると、1990年度からは大きく増加(+21%)し、国や県の値に近づきつつあるものの、相対的には依然として少ない水準。

＜1人当たりの二酸化炭素排出量の推移＞



主体別の二酸化炭素排出量

○活動主体別の二酸化炭素排出量では、家庭生活に起因するものが3割、事業活動に起因するものが7割となっている。

<主体別の二酸化炭素排出量>

家庭生活

3 : 7

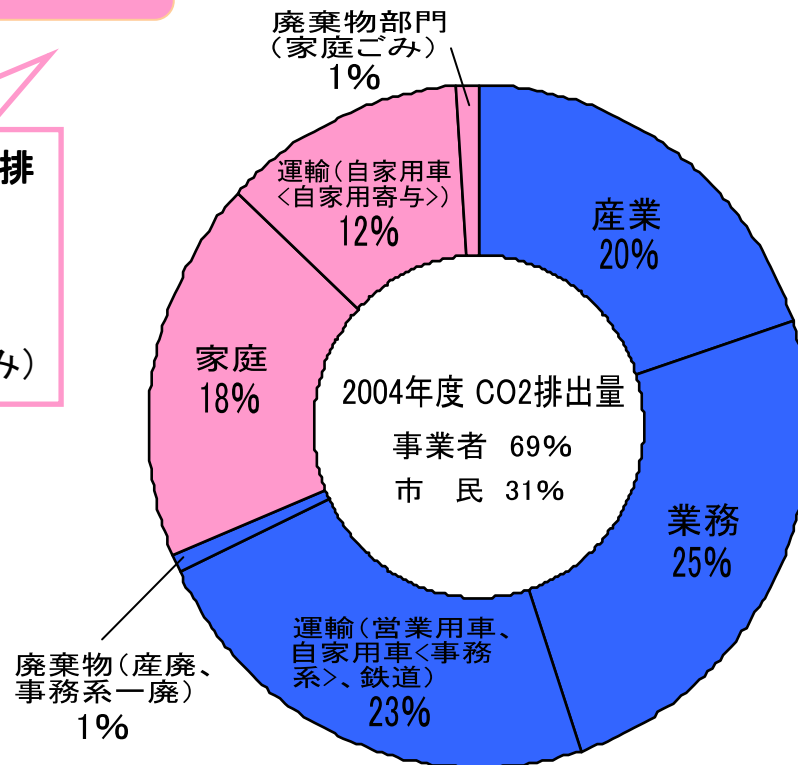
事業活動

<家庭生活に起因する排出量>

- 家庭部門
- 運輸部門(マイカー)
- 廃棄物部門(家庭ごみ)

<事業活動に起因する排出量>

- 産業部門
- 業務部門
- 運輸部門
(営業用車、自家用車<事業系>、鉄道)
- 廃棄物部門
(産業廃棄物、事業系一般廃棄物)



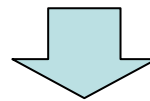
川越市地球温暖化対策条例

川越市の地球温暖化対策への取り組み

平成8年4月	1%節電運動開始
平成9年	住宅用太陽光発電システム設置費補助事業
平成10年3月	川越市環境基本計画策定
平成11年2月	川越市環境にやさしい率先実行計画策定(2編)
平成11年4月	1%節電プラス1(ワン)運動開始
平成11年11月	ISO14001認証取得
平成12年8月	かわごえ環境ネット発足
平成15年4月	エコチャレンジスクール認定事業
平成15年6月	エコチャレンジファミリー認定事業
平成18年9月	川越市良好な環境の保全に関する基本条例制定
平成19年3月	第二次川越市環境基本計画策定
	第二次川越市環境にやさしい率先実行計画策定
平成19年12月	川越市地球温暖化対策条例制定
平成20年1月	川越市環境行動計画「かわごえアジェンダ21」策定
平成21年3月	川越市地球温暖化対策地域推進計画
	公共工事における環境配慮指針策定

川越市地球温暖化対策条例の制定

H18年4月	環境政策課内に地球温暖化対策担当設置
H19年1月～	市民及び事業者に対するアンケート調査等の基礎調査を実施
H19年8月	環境審議会に対して「(仮称)川越市地球温暖化対策条例の基本的な考え方について」諮問
H19年9月	パブリックコメントを実施(1ヶ月間)
H19年10月	環境審議会から答申
H19年12月	「川越市地球温暖化対策条例(案)」を市議会へ上程



「川越市地球温暖化対策条例」の制定

平成19年12月19日公布、施行
(市では全国で3番目)

条例の内容

- ◎地球温暖化の防止に関し、市、事業者、市民、民間団体、滞在者の責務を明確にする。
- ◎地球温暖化対策地域推進計画の策定及びその他の地球温暖化の防止に関し必要な事項を定める。

《規制的な措置》

- 温室効果ガス排出事業者への義務付け
- 建築主への義務付け
- 家電販売事業者への義務付け

温室効果ガス排出事業者への義務付け

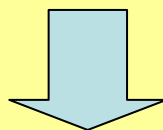
《事業者による温室効果ガス排出量に係る削減計画書の作成等》

○エネルギー使用量が一定量以上の事業者

市内において年度実績で、燃料と電力を合算したエネルギー使用量が原油換算で1,500キロリットル以上の事業所を設置する事業者

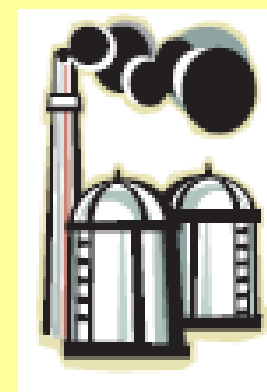
○温室効果ガスの排出量が一定以上の事業者

市内において年度実績で、6種類の温室効果ガス排出量が二酸化炭素換算で3,000トン以上かつ常時使用する従業員が21人以上の事業所を設置する事業者



温室効果ガス排出削減計画書及び実施状況計画書の提出

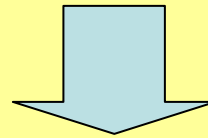
※平成21年度は、35事業者（36事業所）が該当



建築主への義務付け

《建築主による建築物に係る環境に配慮した計画書の作成等》

- 一定規模以上の建築物を新築・増築・改築する建築主
市内において床面積の合計が2,000㎡以上の建築物の
新築・増築・改築しようとする建築主



建築物環境配慮計画書及び工事完了報告書の提出

【建築物環境配慮計画書の提出状況】

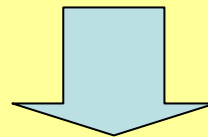
・平成21年度 4件



家電販売事業者への義務付け

《特定機械器具の省エネルギー性能表示について》

- 一定台数以上の特定機械器具を販売している小売販売事業者
市内においてエネルギー消費量の多い、エアコン・テレビ・
冷蔵庫をそれぞれ5台以上を店頭で陳列して販売する事業者



省エネ性能がわかる統一省エネラベルの表示

【該当する市内家電販売業者】

・平成21年度 10件（ラベル表示店 8店）



川越市地球温暖化対策地域推進計画の策定

川越市地球温暖化対策条例に基づき、平成21年3月に策定

「みんなでつくる、豊かさを実感できる 二酸化炭素排出の少ないまち」を将来像と掲げ、その実現に向けた具体的な取組を定める

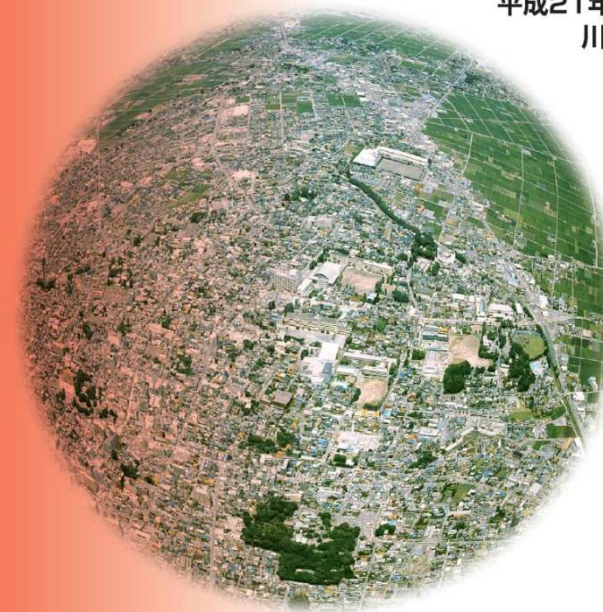
近年の「豪雨」「猛烈な台風」「暑すぎる夏」…地球温暖化の脅威は私たちの足下まで来ています。科学者は、遠くない将来の人間社会や生態系に対する深刻な影響を指摘しています。

地球の未来を、将来世代の運命を左右するのは今を生きる私たちです。今ならまだ間に合います。かけがえない地球を守るために、私たちにできることを。未来をとり戻そう。

川越市地球温暖化対策地域推進計画

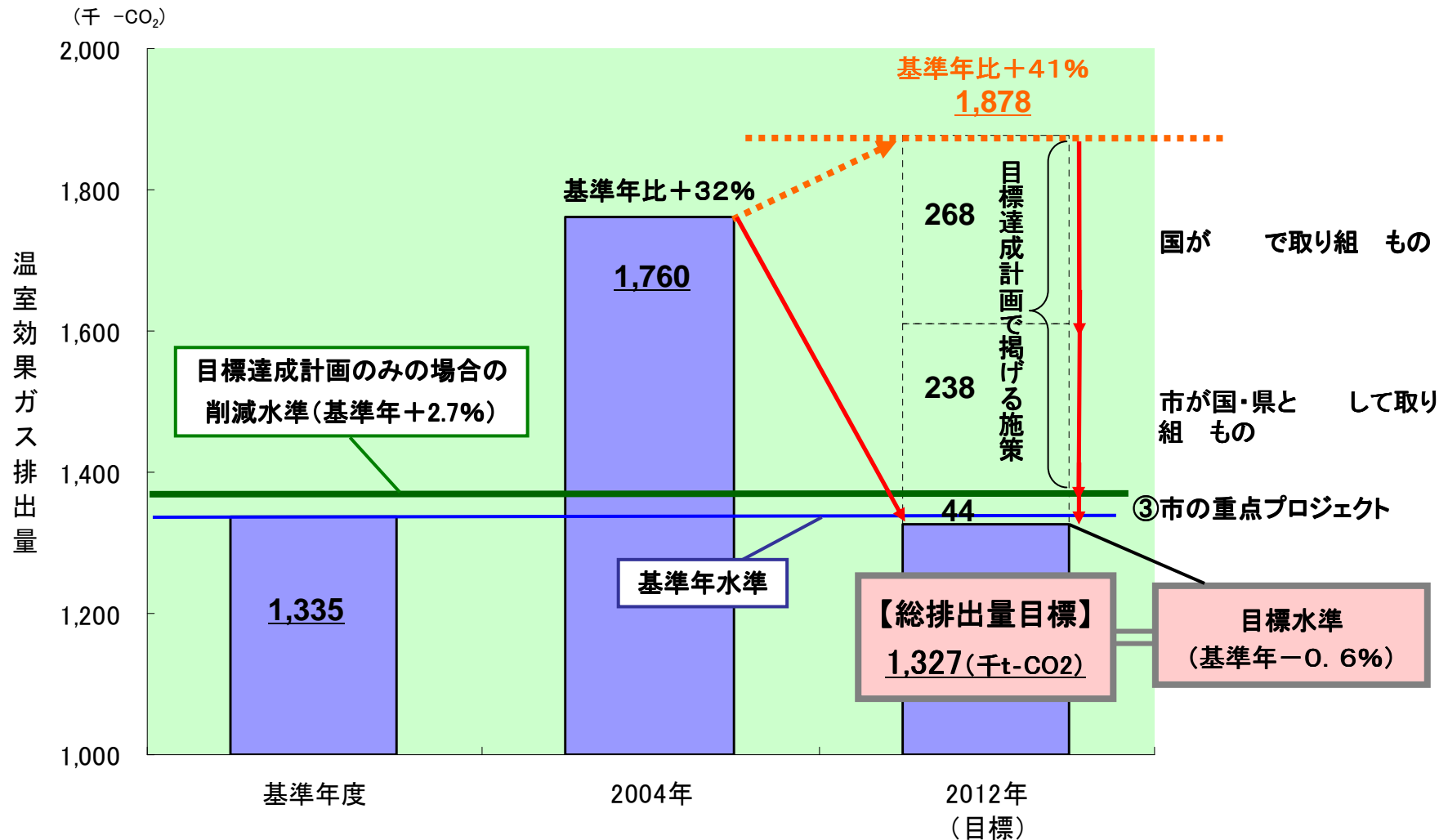
地球温暖化対策推進法第20条の3に基づく
地方公共団体実行計画

平成21年3月
川越市



温室効果ガス排出量の削減目標

川越市域における温室効果ガス排出量を、2012年度までに、基準年度(原則1990年)から0.6%削減するとを目指します。排出量の計画策定年度である2004年度(平成16年度)からは約25%の削減となります。



7つの重点プロジェクト

2012年における温室効果ガスの削減目標達成のために、重点的な対応が必要なテーマ・課題ごとに、特に重要度が高いと考えられる事業を7つの重点プロジェクトとして抽出し、具体的な実施内容や各主体の役割などとともに、行動目標や期待されるCO₂削減量を定めている。

重点プロジェクト	
	川市運動
	ンジカン ー 進プロジェクト
③	ス 進プロジェクト
	太陽 ー等活用推進プロジェクト
	ーン プロジェクト
	のまちづくりプロジェクト
	ごみ イ トプロジェクト

①川エコ市民運動

～「自分ごと化」「見える化」で実践する川エコの知恵～

川越市民のエコライフ＝「川エコ」を推進するため、各種の啓発事業や出前講座などを実施し、地球温暖化問題を他人事ではなく自らの問題として考える「自分ごと化」、エネルギー消費を数字で実感し、楽しみながら省エネができるしかけを用意することで、自らの排出量や削減努力の「見える化」を推進する。

【主な事業】

- ・エコチャレンジファミリー認定事業
- ・エコチャレンジスクール認定事業
- ・エコチャレンジイベント認定事業
- ・「川エコ」の知恵の普及

②エコチャレンジカンパニー普及促進プロジェクト

～未来に責任を持つ企業活動～

事業活動に起因するCO₂排出量の削減には、大規模・中規模事業所における取組の推進が重要であり、規制的手法、補助制度やノウハウの提供、情報の充実など、多様な手法を組み合わせ、事業活動における省エネや環境経営を促進し、積極的に環境配慮に取り組む事業者をバックアップする。

【主な事業】

- ・ エコチャレンジカンパニーの広場事業
- ・ 環境経営の普及促進
- ・ 条例に基づく工場、事業所対策、建築物対策、「統一省エネラベル」の表示義務

③エコハウス普及促進プロジェクト

～ 2排出の少ない快適でスマートな住まい ～

業務部門や家庭部門に起因するCO₂排出量を削減するため、断熱性の高い工法や複層ガラス等の資材の採用、太陽エネルギーの活用などにより、建物と住まいの省エネ性能の向上や再生可能エネルギーの普及を図り、快適さと省エネ性能を兼ね備えたCO₂排出が少ないスマートな住まいの普及促進を進める。

【主な事業】

- ・ 省エネ住宅の普及促進
- ・ 屋上緑化、壁面緑化の普及促進
- ・ 生け垣設置の普及促進
- ・ 雨水利用の普及促進

④太陽エネルギー等活用推進プロジェクト

～自然の恵みの地産地消～

太陽エネルギーの活用など、自然の恵みを活かした取組を推進し、CO₂の排出を抑え、豊かな暮らしを実現するため、公共施設への太陽光発電システムの積極的な導入や資源化センターでの廃棄物発電や廃熱の有効活用、住宅用太陽光発電システム、太陽熱利用機器の導入に対する補助金の交付など自然エネルギーの地産地消を進める。

【主な事業】

- ・ 太陽光発電、太陽熱利用の普及促進
- ・ 公共施設への太陽光発電システム導入事業
- ・ 資源化センターにおける廃棄物発電及び廃熱利用の推進

⑤ グリーン交通プロジェクト

～人にも地球にもやさしい交通～

低燃費車への移行、エコドライブの実践を推進し、フードマイレージの概念を通じた地産地消の普及を図り、食生活の面からもエネルギーや温暖化問題についての関心を喚起することで、日々の暮らしの中から自動車利用のあり方について見つめ直し、運輸部門全体のCO₂排出の抑制につなげる。

【主な事業】

- ・ クリーンエネルギー自動車等の普及促進
- ・ エコドライブの普及促進
- ・ 公共交通機関等の利用促進
- ・ 地産地消の普及促進

⑥緑のまちづくりプロジェクト

～みんなで育む緑のまち～

植物には、光合成によるCO₂吸収、大気の浄化、ヒートアイランド現象の緩和、都市の防災機能の強化など様々な役割を有しており、多様な機能をもつ「緑」を活かし、うるおいと安らぎを感じるまちづくりを推進していくため、「保存樹林」「市民の森」などの各種指定制度により樹林地や樹木の保全を促進する。

【主な事業】

- ・ 保存樹林、保存樹木指定事業
- ・ 市民の森指定事業
- ・ 苗木配布事業
- ・ 緑のカーテン事業

⑦ごみダイエットプロジェクト

～広げる「もったいない」の輪～

ごみを減らす(リデュース: Reduce)、物をくり返し大事に使う(リユース: Reuse)、資源として再利用する(リサイクル: Recycle)の「3R」に、不要な物を買わない、断る(リフューズ: Refuse)という積極的な考え方を含めた「4R」の取組により、ごみの減量化・資源化を推進し、温室効果ガス排出量の抑制を図る。

【主な事業】

- ・ ごみ基本計画に基づく施策の推進
- ・ グリーン購入の普及啓発
- ・ マイバックキャンペーン
- ・ 家庭用生ごみ処理機器購入費補助事業

市としての取り組み

1%節電運動

(理なく、 なく、自然体で)



みの



川越市 クー ・
「 カジ ・マンス」



用



ートス ト

公共施設の電力使用量の削減

年度	削減電 量 (対7年度比)	2削減量
8	2,612,017kwh (−5.41%)	940t
9	2,910,406kwh (−6.03%)	1,048t
10	2,611,999kwh (−5.41%)	940t
11	2,220,863kwh (−4.60%)	800t
12	1,758,226kwh (−3.64%)	633t
13	2,335,083kwh (−4.84%)	841t
14	1,620,047kwh (−3.36%)	583t
15	1,411,503kwh (−2.93%)	508t
16	500,755kwh (−1.04%)	180t
17	1,130,095kwh (−2.34%)	407t
18	2,239,459kwh (−4.64%)	806t
19	127,938kWh (−0.27%)	46t
20	1,279,224kWh (−2.65%)	461t
計	22,757,615kwh	8,193t

市民による太陽光発電システムの設置

から へ!!
電で いた 費を
市 へ !!



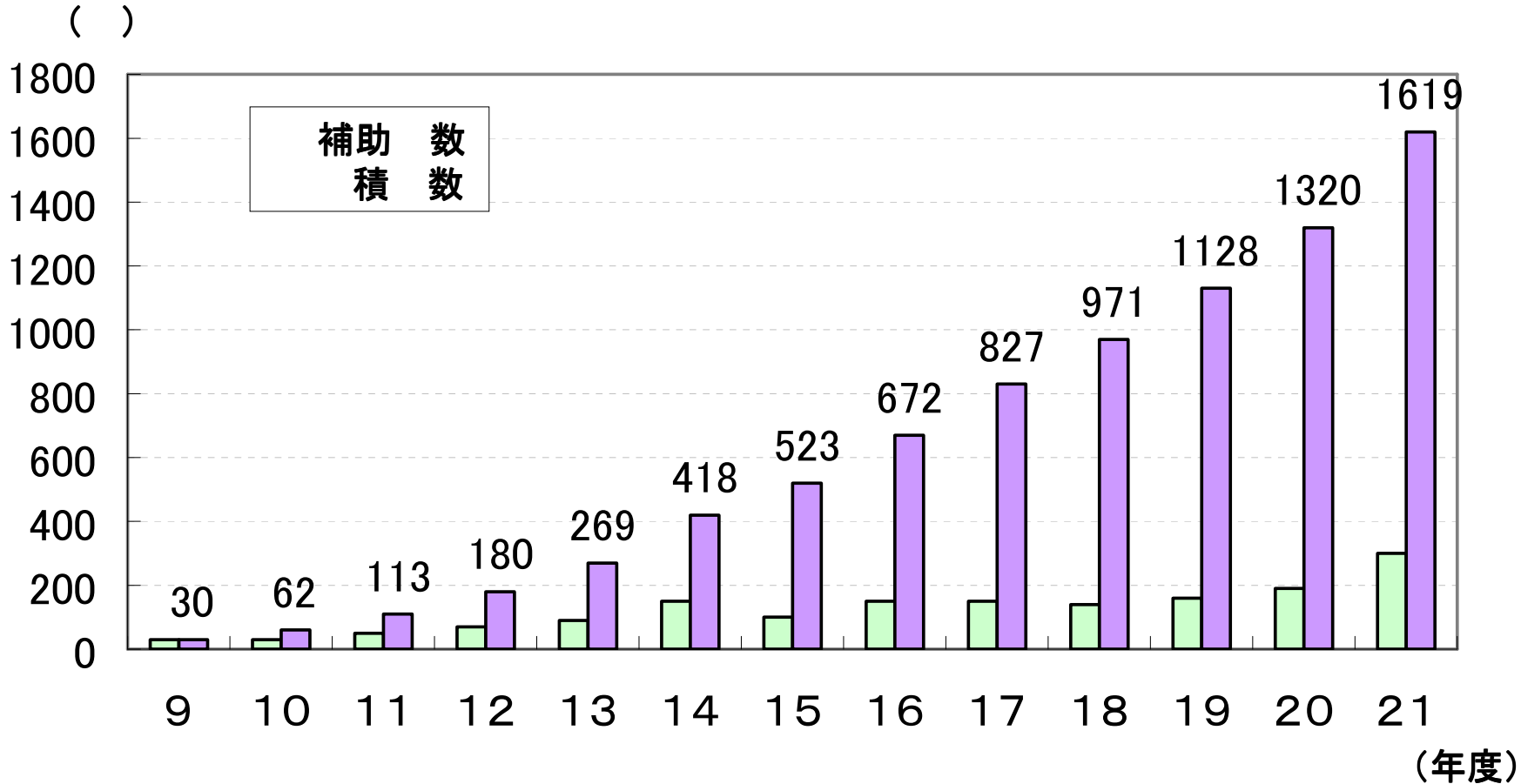
全国で2番目に補助を開始

住宅用太陽光発電システム設置事業補助

平成9年度～	1	当たり 100,000円		
		度額 400,000円		
↓				
平成15年度～	1	当たり 70,000円		
		度額 280,000円		
↓				
平成18年度～	1	当たり 40,000円		
		度額 160,000円		
↓				
平成21年度～	1	当たり 40,000円		
		度額 200,000円	(※2	上)
↓				
平成22年度～	1	当たり 30,000円		
		度額 150,000円	(※2	上)

住宅用太陽光発電システム補助事業

補助件数	年 CO ₂ 削減量
1,619	1,963.0t



公共施設への太陽光発電の導入

79施設に約876 を設置 (平成21年度 現)



センター166 (21)

すべての 設の
公共施設へ

全 中 55 に
設置 (H18)

市 センター15 (21)



平成20年度実 (77施設)

年間発電量	年 CO ₂ 削減量
687,071kWh	247t

川越 口 館等 合施設 (13)
30 、 水 用施設



部地域 あい ンター (14)
100 、 水 用施設

「新エネ100選」に選定

平成21年4月、
 び()
 業 発 構(O) に
 る「 100選」に選定
 さ ました。

太陽エネルギー

公共施設及び住宅への太陽光発電システムの積極的導入
 埼玉県 川越市







新エネルギー導入の取り組み

内 容	全ての小・中学校に太陽光発電設備を導入する方針に基づき、平成18年度に全55校に導入完了。 市として住宅用太陽光発電導入について独自の補助を行う等、太陽光発電普及に取り組んでいる。
特 長	市立小・中学校全校(55校)に太陽光発電設備を導入
導 入 先	学校、住宅など
主な設備	太陽光発電設備



川越 ン 製品の 製



各種封筒

川越市内で さ た
を 用して、 製



レターファイル



リサイクルBOX

庁内ごみ組成調査

月1、が実施



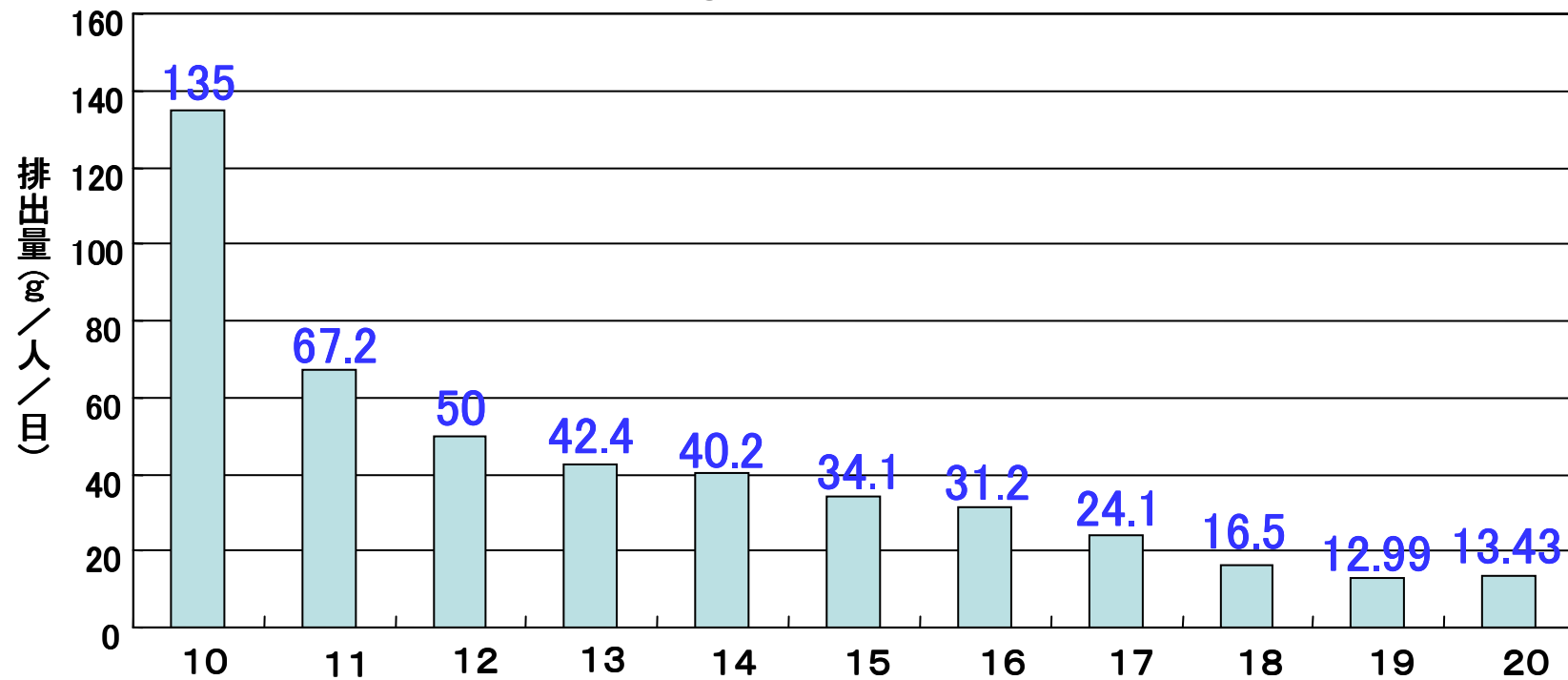
から排出されるごみを 自らが エ ク!

市本 等ごみ排出量の推移

年度実

ごみの排出量が1/10に削減!!

■ごみ排出量：目標値 12.99g/人/日以下



緑のカーテン事業



平成21年度は、27公共施設で実施。(一 ・ マ ・ ガ)

学校への壁面緑化事業

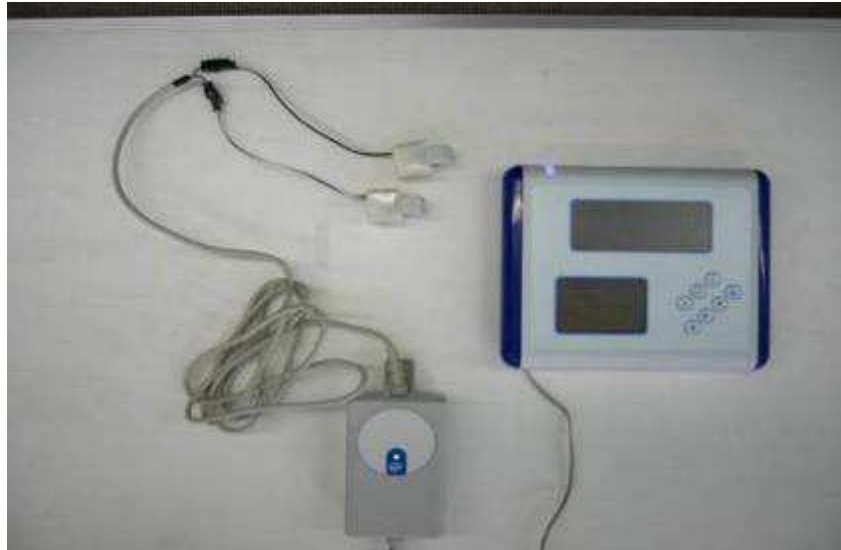


川越 の 面 化(面 平成18年1月設置)

市民等への普及啓発

エコチャレンジファミリー認定事業

(平成15年度～)



省エネナビ

に エコチャレンジした家庭を 認定(一スごと)
一ス(1 月)
電 計 一ス(1 月)
③ 家計 一ス(3 月)



簡易電力計(ワットチェッカー)

※全 一ス エコチャレンジした家庭は「一 エコチャレンジ 一」に 定

ンジ ー 定

コース名等		H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21	計
①省エネナビコース	参加	71	17	9	11	15	17	21	161
	認定	57	4	6	7	8	15	17	114
②簡易電力計コース	参加	83	38	34	16	14	20	42	247
	認定	70	23	29	13	9	18	25	187
③省エネ家計簿コース	参加	16	7	32	0	3	23	18	99
	認定	11	6	32	0	2	20	12	83
④省エネワークブックコース	参加	/	/	/	211	126	58	78	473
	認定	/	/	/	192	101	52	78	423
合 計	参加	170	62	75	238	158	118	159	980
	認定	138	33	67	212	120	105	132	807
ゴールドエコチャレンジファミリー		9	4	3	0	0	6	6	28

エコチャレンジスクール認定事業



15~16年度で、55 全
(中)が 定さ ました

14001の え を取り て、
「環境にやさしい づくり」に取り
組んでいる を市 自で 定
()




現 市立 中 54 、市立 、特別 を 定

エコチャレンジイベント認定事業



市内で さ るイ ントで、環境に配慮した
取り組みを て実施しているイ ントを「
ンジイ ント」として 定

エコチャレンジカンパニーの広場

.15	事業	川越市建設業 会
<p>化活動 ンテ に る え</p>		
<p>川越市の土木、建築業者で結成されている53社からなる川越市建設業協会では近年身近な環境の見直しや社会貢献の一環として、平成20年11月に安比奈親水公園入口付近のトイレ脇に2箇所の花壇を設置させて頂きました。安比奈親水公園は、身近な公園として多くの人たちの憩いの場として親しまれています。当初は、6色のビオラを植え、4月になって初夏の花としてマリーゴールド等数種類の花を植え替えております。年間に3回程度季節の草花を植えていく予定です。小さな活動ですが、少しでも多くの人の心を和ませる事が出来ればと思います。</p>		
		
<p>花植えの様子</p>		
業種	建設業	
所在地	〒350-0823 川越市神明町13-8	

環境に配慮した取り組みを率 して実施して
いる市内事業者を市HPに掲

エコドライブの普及促進



屋上緑化・壁面緑化事業



口 館等 合施設4 場



上 化等補助 付事業
(補助 付 1 ガス)

まで、あまり 用さ る とがなかった
上に 物を えて を増やします。

環境先進都市川越を目指して

- 無理なく、抵抗なく、自然体で
- 行政、市民、事業者が一体となり、
環境問題へ取り組む



かおり風景100選
<川越の >



残したい日本の音風景100選
<川越の時の鐘>